

ウガンダ × 日本 ②

あなたにとっての1秒は誰かにとっての1秒でもある



ウガンダとは???

国について part2

今回は、ウガンダの言語についてご紹介していきたいと思います。10月9日は、ウガンダの独立記念日に制定されています。

このことからわかるように、ウガンダはイギリスの植民地（1894年～1962年）となっていた時代がありました。第2次世界大戦後の1962年に独立を果たし、様々な困難を乗り越えて、現在に至ります。さて、皆さん前回の“ウガンダクイズ”を覚えていますか？ウガンダの公式言語として使用されている言語は、イギリスの領土であったことが大きく影響し、“英語”が使用されています。小学校中学年の子供達は英語で会話ができるようになり、授業も英語を使用しての授業に完全に移行されます。

ウガンダには、現在（2017年7月）122の県が存在しますが、その多くの地域では、英語だけでなく“現地語”も使用されています。地域や部族によって話す言語が違います。日本の方言とは違い、全く違う言語が一つ県をまたぐと使用されています。

（右ページに続きます）



日本の本州とほぼ同じ面積	
ウガンダ	(241,037 km ²)
日本の本州	(227,962 km ²)

どこへ行っても自国の言葉で会話ができる日本が当たり前ではないということに気づかされました。



現地での語学学校での写真です。それぞれが任地で使用されている言語を学びます。

任地 “カプチョルワ”

私の任地は、ウガンダの首都カンパラから東にタクシーで7時間（約300km）のところにある“Kapchorwa”（カプチョルワ）という県です。標高が2000mと高く、ウガンダの中だと比較的涼しい地域です。多くの農作物の生産地として、様々な地域に出荷しています。その中でも、キャベツ（1玉10円）やジャガイモ（1kg20円）、アボカド（1個5円）などが主なものとしてあげられ、他の地域と比べて安く入手することができます。使用現地語は、“kupsbiny”（コプサビン）と呼ばれる言語で、ウガンダの中でもこの地域だけで使用されている珍しい言語です。もちろん日本語から翻訳されている辞書などなく、使ってみて試しながら学んでいます。首都から人が訪れれば、何も無いところと言われるかもしれませんが、空気が綺麗で、夕日も朝日も毎日のように素晴らしい、満点の星空が見れて、人の優しさに触れられるそんな任地“カプチョルワ”が私は、大好きです。



写真左 * Stephen Kiprotich(スティーブン・キプロティチ)

2012年 ロンドンオリンピック 男子マラソン **金メダル**

2013年 世界陸上モスクワ 男子マラソン **金メダル**

写真右 * Joshua Cheptegei(ジョシュア・チエプテゲイ)

2014年 世界陸上ロンドン 男子10000m **銀メダル**

バナナ畑の中を歩いて、小学校へ向かっています。とてもお世話になっているご近所さん。



ウガンダの中でも2番目に高いエレゴン山（4321m）の中腹に位置することもあり、その眺めは本当に素晴らしい。



標高の高さを利用して、カプチョルワでは多くの陸上選手がトレーニングをしています。左の写真に写る彼らは、ウガンダ国内でも有名な陸上選手の2人です。この2人もカプチョルワ出身です。2020年の東京オリンピックで代表選手として日本に来るかもしれません。



中長距離陸上選手の練習風景

ウガンダ野球

日本での野球は、プロ野球をはじめとし、すごく認知度の高いスポーツとして捉えられています。ただ、世界で考えたときの野球（ベースボール）の認知度は、日本ほど高いとは言えません。中でも特に、ウガンダがあるアフリカ大陸では、ほとんどの人が名前すら知りません。理由としては、**金銭的問題**が挙げられます。ボール1つで大人数で楽しむことができるサッカーと比べて、野球は、様々な種類の道具が必要であり、値段も安くありません。また、**ルールが複雑**であったり、整備された**場所の確保**といった面も一部の理由として考えられます。

日本で野球離れが進んでいく中、ウガンダで野球の人気度は高くなっています。大きな一つの要因として、様々な国による普及活動及び支援活動が考えられます。日本は、野球を指導する協力隊員を派遣しています。アメリカのマイナーリーグや日本の独立リーグとの契約に至る選手が出て来るなど、そのレベルも高くなってきていることが伺えます。

現在もウガンダには、シニア海外ボランティアとして野球の分野で活躍されている方が1名います。

(2016年度4次隊 田中 勝久さん)



この方が現在、**ウガンダのナショナルチームの指揮をとっています**。任地の活動と相談しながら、私も練習に参加させてもらっています。

日本の支援により建設された練習場です。



最後に

今回も最後まで読んでいただきありがとうございます。ウガンダは、つい最近乾季に突入しました。私の任地では、晴天が続く毎日です。日本の冬の寒さは、今年は経験しそうにないです。12月の最初の週で今学期が終わり、2ヶ月の長期休みに入ります。ウガンダの事をもっと深く知るための期間にしたいと考えています。新しく得た情報はこちらで発信していく予定です。よろしくお祈りします。

ウガンダクイズ

ウガンダの小学校は、何学年あるでしょうか???

- ①6年 ②4年 ③7年 ④10年



次回のトピック

- ①国について part3
②ウガンダの学校

